

県議会 おおいた

No. 123
大分県議会
令和3年8月発行



題字は、大分県立佐伯鶴城高等学校3年休坂璃里子さんの作品です。



夏休み子ども議会見学

8月3日に「夏休み子ども議会見学」を開催しました。子どもたちはまず、本会議場で議会の仕組みなどについて学んだあと、議会棟を探検しながら議員と名刺交換を行いました。その後に行った議員とのふれあいトークでは、子どもたちからたくさんの質問があがり、盛況のうちに幕を閉じました。

目次

- 令和3年第1回臨時会/令和3年第2回定例会 ……2
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 ……6
- 常任委員会 ……7
- 議員フーカス ……8
- 若者DAY、議員出前講座 ……9
- トピックス・県議会今後の動き ……10

令和3年第1回臨時会

5月31日に開催し、新型コロナウイルスウィルスワクチン接種体制の強化や中小・小規模事業者等に対する支援などに必要な経費を盛り込んだ、令和3年度大分県一般会計補正予算案について審議し、可決しました。

令和3年第2回定例会

6月15日から6月30日までの会期16日間で開催しました。

開会后、御手洗議長による諸般の報告に続き、大分県立学校の設置に関する条例の一部改正についてなどの議案が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

6月21日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、新型コロナウイルスの感染拡大防止や社会経済活動の再活性化に向けた取組などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、常任委員会を6月15日、24日、25日、30日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案17件、議員提出議案3件について可決・同意し、閉会しました。

一般質問

6月21日(月)



自由民主党
清田 哲也 議員

▼学校とフリースクールの連携
▼県内造船業への支援

ほか

問 学校とフリースクールの連携の現状と課題、その解決に向けた見解を伺います。

答 フリースクールに通う児童生徒の支援には、学校・保護者・フリースクールの緊密な連携が不可欠です。

そのため、平成30年に整備した三者の望ましい連携等を示したガイドラインに、フリースクールでの出席・学習状況等について、フリースクールと学校で確認することを明示しており、今のところ概ねこれに沿った対応がなされていると捉えています。個別の確認も進めていきたいと思えます。

不登校児童生徒に対する教育機会確保の重要性が増す中、各学校はその状況把握などに注力する必要があり。フリースクール等学校外で支援を受けている場合も含め、家庭環境等を適正に見極め

た上で、状況に沿った支援となるよう、市町村教育委員会とも連携し、徹底を図っていきます。

県内ではここ数年フリースクールが急増していることから、ガイドラインについても周知徹底をさらに図り、昨年度設置した「大分県フリースクール等連絡協議会」等で情報共有して、学校とフリースクールの緊密な連携・協力につなげていきます。



県民クラブ
浦野 英樹 議員

▼孤独死の防止
▼人生会議などを通じた遺言制度の周知

ほか

問 孤独死の現状及び対策について、知事に伺います。

答 孤独死は「孤立死」とも呼ばれ、その増加が懸念されますが、統一的な定義は定まっておらず把握が難しいところです。

県では、社会的孤立を防ぐため、3つの取組を進めています。

1つは、ひきこもりの方への支援です。ひきこもり地域支援センターでは、課題解決に向けて、多様な支援機関と連携し、当事者・家族の思いや希望に寄り添った支援を行っています。

2つは、孤立しがちな方の地域参加への支援です。県内には住民が気軽に集まり、ふれあいを通じて生きがいづくりなどを行う通いの場が約2,900あり、参加率は全国トップとなっています。

3つは、住民同士の支え合い活動の推進です。ひとり暮らし高齢者などの生活の困りごとを有償ボランティアが支え合う「住民参加型福祉サービス」は、県もその立上げを支援しているところです。

また、地域の民生委員は、悩みを抱える人の身近な相談相手として、支援が必要な住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を果たしています。

今後とも、様々な取組や支援策を孤独に悩む方などにつかり届け、社会的孤立の防止を図っていきます。



自由民主党
阿部 長夫 議員

▼農業非常事態宣言を受けた農業政策
▼杵築市における撤退企業の工場閉鎖後

ほか

問 農業非常事態宣言を受けた農業政策について、知事の見解を伺います。

答

産出額の減少に加え、担い手の減少・高齢化が著しい本県農業の構造改革は待ったなしの状況です。この認識を農協などの関係団体がしっかりと共有すべく、非常事態宣言を發出し、その上で、改革に取り組む農協を後押しするために、農業総合戦略会議を設置したところです。

戦略会議では、特に早急な対策が必要な構造改革、販売対策、担い手対策、そして農協改革について、しっかりと議論していきます。

まず、構造改革では、これまで、戦略品目を軸に生産振興してきましたが、品目によっては拡大できていないため、地域の熱意を踏まえ、品目の見直しも含めてしっかりと検討していきます。

販売対策は、県農協が全力をあげて取り組むべき課題です。県農協が生産者と徹底的に対話を重ね、事業のあり方を全農とも連携して、見直すよう働きかけていきます。

担い手の面では、就農学校等の取組が成果を上げていますが、今後は産地を支える農協が積極的にこれらの取組を拡大し、全国から若者を呼び込むことが重要です。

また、農協改革では、産地の生産力強化が農協の基盤強化につながるという関係性を生産者と共有することも大事です。それぞれが

真剣に生産力強化に取り組む本来の体制を確立した上で、それに県の施策を連動させることが最も効果的であると考えています。



県民クラブ
馬場 林 議員

▼児童養護施設退所者等への支援
▼公務員の働き方改革 ほか

問

県の児童養護施設退所者等への支援状況を伺います。

答

昨年実施された厚労省調査によれば、本県においても、つながりの途絶えた退所者が半数近くに上っていますが、現在養育している児童への対応を優先せざるを得ない実情を踏まえると、退所後の支援を施設や里親個人に委ねるには限界があります。

県では、施設等の退所後の支援を補うため、平成23年に「アフターケアセンターおおいた」を設置し、生活相談等に応じてきました。30年度からは、同センターに支援コーディネーターを追加配置し、退所後の生活設計や相談先等を本人と直接話し合うことで、継続的なサポートにつなげていきます。

また、県内9か所の児童養護施設に対しても、アフターケアを担

う自立支援担当職員を昨年度までに全施設に配置し、退所した若者がいつでも相談できる体制を整えました。

今年度からは、20歳以降も進学のために施設や里親家庭で生活する場合は、国の制度に乗せして生活費の補助を始めました。

今後は、さらなる実態把握に努め、当事者グループ等の育成を図ることで、退所者が心を開いて相談しやすい環境を整えていきます。

6月22日（火）



県民クラブ
木田 昇 議員

▼電気自動車シフトに伴う影響等
▼九州ブランドのPR拠点づくり ほか

問

EV化の進展に伴う本県自動車関連産業への影響や課題、今後の見通しについて、知事の見解を伺います。

答

国は、2050年カーボンニュートラルを宣言し、2035年までに新車販売で電動車100%実現の方針を打ち出しました。対応を迫られる自動車メーカーは、電気や水素を用いた

燃料電池を利用する次世代自動車の開発を更に加速すると考えています。

電動化という大きな変化は既に始まっています。県としては、県自動車関連企業会を中心に、自らがその変化をどう捉えればいいのか、その変化の中からどう成長の機会を見つけていくか、そのための支援を講じていきます。

まずは、電動化の動向を的確に把握し、対応していくことです。「次世代自動車セミナー」を開催し、電動化の自動車部品への影響等の知見を得る場として活用してもらっています。

次に、新分野参入に挑戦意欲のある企業に対し、電動化等に係る部品や部品製造装置等の開発費用を補助する制度を設けています。また、自動車の電動化とともに、自動運転技術への対応も大変重要です。このため、今年度、企業会の中に、次代を担う若手経営者を対象とした新たな研究会を立ち上げることとしています。

本県自動車関連産業の更なる発展に向け、自動車メーカーや大手部品メーカーとの連携も深めながら、企業の事業展開意欲を後押しするような、効果的な支援に取り組んでいきます。



自由民主党
田谷 豊 議員
おしづみ ゆたか

▼農業産出額増加に向けた園芸作物の選定
▼防災重点農業用ため池の整備方針

問 農業産出額の向上に向け、どのような園芸品目を選定し、進めていくのか、知事の見解を伺います。

答 儲かる農業の実現には、その地域の風土に合った、マーケットニーズの高い品目の選定と、産地拡大していくための農地の確保が重要です。このため、水田畑地化等により各地域で農地確保に取り組み、令和2年度も、81ヘクタール拡大し、園芸産出額の増加につながっています。今後この動きを加速していきます。まず、地域風土に合ったマーケットニーズの高い品目の選定です。マーケットニーズの高い品目について、熱意のある地域の「園芸団地づくり計画」を策定し、振興していきます。加えて、農業非常事態宣言を受け、生産者や農業団体と一体になって、計画の見直しも含め、園芸の構造改革に真正面から取り組みます。一方、産地拡大にはまとまりの

ある農地の確保も大事です。今後、高齢化に伴う担い手不在集落や耕作放棄地の急増も想定されます。ここをチャンスと捉え、早急に栽培に適した農地を整備し集積していくための体制強化にも努めていきます。生産者、農業団体、行政が一体になり構造改革に取り組み、今こそ、再生へのターニングポイントであり、地域に合ったマーケットニーズの高い園芸品目の拡大に、不転の気持ちで取り組みます。



無所属の会
小川 克己 議員
おがわ きくみ

▼令和2年7月豪雨災害からの復旧復興
▼観光業の振興

問 令和2年7月豪雨災害復旧・復興推進計画の進捗状況及び今後の方向性について、知事の見解を伺います。

答 昨年7月の豪雨直後に、被害が大きかった地域において、被害状況や課題・要望等を直接伺いながら「復旧・復興推進計画」を策定し、社会資本の復旧・復興と事業者の経営再建の両面から取り組んでいます。まずは、社会資本の復旧・復興

です。特に、被災した河川に家屋や道路等が近接する箇所については、応急工事を実施してきました。また、本復旧については、5月末までに7割を超える箇所です事に着手し、緊急時には建設業者が即時に対応する体制も整えています。野上川や玖珠川など特に被害が大きく、また災害の発生する危険性が高い箇所は、河道拡幅など県土強靱化につながる改良復旧も進めています。農地・農業用施設については、仮設ポンプによる用水の確保等の営農対策を進め、被災農地の概ね8割で今年の作付けが可能になったところです。加えて、土砂災害特別警戒区域や河川管理施設、農業水利施設等の点検を5月末までに県内全域で終え、緊急対応の必要がないことを確認しました。次に、被災した中小企業・小規模事業者や観光業の再建については、県独自に補助率を上乘せした「なりわい再建補助金」などにより、施設・設備等の復旧を手厚く支援しており、既に8割を超える事業者が事業の再開を果たしています。地域の皆さんが希望を持って取り組めるよう、県としてもスピード感を持って、復旧・復興や県土

の強靱化を進めていきます。



自由民主党
後藤 慎太郎 議員
ごとう しんじろう

▼性的マイノリティに対する取組
▼猫の殺処分削減策

問 性的マイノリティの人々に対する取組について、知事の見解を伺います。

答 人権尊重の社会づくりを推進するためには、性的マイノリティを含めた全ての人が互いを尊重し、多様な価値観や生き方が認められることが大切です。県では、性別記載欄のある申請書等の見直しや、若年層を対象とした啓発マンガ「りんごの色」の制作等、様々な取組を行ってきました。さらに昨年「大分県人権尊重施策基本方針」を改定し、性的マイノリティの人権を新たに重要課題として位置付け、次の3点の取組を重点的に進めています。1つは、県内における啓発活動の推進です。人権課題をより身近に感じられるよう、当事者のインタビューを映像化しており、市町村や隣保館での研修で利用されています。さらに、まずは職員自身が正しい知識を持つ必要があることから、昨年9月に職員向けのハ

ンドブックも作成しました。

2つは、学校における人権教育・啓発の推進です。「大分県人権教育推進計画」に基づき、性的マイノリティに関する課題を授業等で取り上げ、理解を深めている学校が年々増加しています。

3つは、相談支援・権利擁護の充実です。LGBT等に関する専門相談窓口を6月に開設しました。

今後とも、誰もが生きいきと活躍し、心豊かに暮らしていける大分県の実現を目指します。

6月23日(水)



自由民主党
衛藤 博昭 議員

▼アフターコロナの観光戦略

▼松岡スマートインターチェンジ

ほか

問 アフターコロナの観光産業復活に向けた政策展開について、見解を伺います。

答 本県では、国民文化祭や全県障害者芸術・文化祭、ラグビーワールドカップなど、大規模イベントを契機に、カルチャーツーリズムやスポーツツーリズムの推進に取り組んできました。

こうした取組が一過性のものとならないよう、県内に拡がりをもった展開としていくことが重要です。

ツーリズムの推進にあたっては、時代の潮流を的確に把握し、県民の皆様や観光事業者、有識者のご意見を聞きながら、インバウンドの復活も見据え、計画的に取り組むことが大事です。

今後は2022年に人工衛星打ち上げを目指している宇宙港の開港や2023年に開催されるツーリズム・ド・九州など、大きなイベントが控えているので、これらを活用した誘客も推進していきます。



自由民主党
守永 信幸 議員

▼県の人材育成

▼障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり

ほか

問 県政運営を担う人材の育成について、知事の見解を伺います。

答 近年、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、国内外でこれまで想定できなかったようなことが次々と発生し、いつ何が起きてもおかしくない「不

確実性の時代」を迎えています。

このような時代にあつて、県民ニーズに沿った行政サービスを提供していくためには、世の中のみまぐるしい変化に対し、臨機かつ柔軟に対応できる人材を育成していくことが非常に大切です。

また、時代の変化という意味では、職員構成の変化に対応した人材育成という観点も重要です。県庁においては、女性職員や35歳以下の若手職員が年々増加しており、その割合は、10年前と比較してそれぞれ1割程度増加しています。

このような状況の変化を踏まえ、女性職員や若手職員が活躍できる体制を構築していきます。



自由民主党
森 誠一 議員

▼人口減少に対応した住宅政策

▼部活動における学校と地域の協働・融合

ほか

問 人口減少を食い止めるという視点も踏まえ、今後の住宅対策の充実について、知事の見解を伺います。

答 県では昨年、少子高齢化・人口減少対策として、「第2期まち・ひと・しごと創生大分

県総合戦略」を策定し、自然増・社会増の両面から、全力で取り組んでいるところです。この取組を進めるうえで、県民生活を支える基盤としての住宅や住環境の整備は大変重要であり、これまでも「大分県住生活基本計画」に基づき、住宅政策を推進してきました。

今年度の計画の見直しにあたっては、新たなニーズに対応した住宅政策を展開していきたいと考えています。

自然増対策では、住宅リフォームの促進により、子育てしやすい環境を整え、家事負担の軽減を図るとともに、テレワークスペースの確保も進めます。公営住宅では、子育て世帯向けの改修を進めるとともに、市町村と連携して保育園などを併設した住宅の整備に取り組みます。

社会増対策では、移住定住をさらに促進するため、空き家バンクの一層の活用や、空き家改修の支援を市町村とともに進めます。賃貸住宅では、住宅確保に配慮が必要な高齢者などの円滑な入居を促進するため、住宅セーフティネット機能も充実させます。

さらに裾野の広い住宅産業の活性化を図り、雇用拡大や人口増もつなげたいと考えています。



公明党
よしむら 公明
吉村 哲彦 議員

▼ネットリテラシーの向上
▼新型コロナウイルス感染症対策

ほか

問

幅広い世代にインターネットへの理解促進を図ることについて、知事の見解を伺います。

答

収集など生活に不可欠となっているインターネットの利用に当たり、トラブルを避け、そのメリットを享受して豊かに生活を送ることができるよう、リテラシーの向上を図ることは重要です。

年齢層により課題が異なることから、各層にあった対策が求められます。

児童・生徒については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、一人1台端末の整備が一気に進んだことから、学校を中心に、教員やICTアドバイザー等の活用によりリテラシーの向上に取り組んでいきます。

低年齢層の子どもについては、保護者の98%が子どものネット利用について管理していることから、保護者への取組が大事です。

高齢者については、高齢者サロンごとにオンライン交流体験会を開催し、デジタルの楽しさや使い方を伝えるとともに、通信事業者と連携して、地域の公民館等での無料講習会も計画しています。今後、デジタル庁の創設など、行政のオンライン化が拡大していくことから、子どもから高齢者まで幅広い世代を「誰一人取り残さない」ようネットリテラシーの向上を図っていきます。

可決された議案（議員提出）

○意見書（3件）

▽地方財政の充実・強化を求める意見書
ほか

可決・同意された議案等（知事提出）

○予算（3件）

▽令和3年度大分県一般会計補正予算（第5号）
ほか

○条例関係（11件）

▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について
ほか

○人事（1件）

▽人事委員会委員の選任について

○その他（2件）

▽工事請負契約の変更について
ほか

●第2回定例会中に特別委員会を設置し、7月末までに2回開催しています。今後は月1回程度開催する予定です。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（15人）

目的	県民生活に甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、安全・安心な日常を取り戻す新しい生活様式への対応と、経済活動の活性化を促進することを目的とする。
付託する事件	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に対応する体制について ・経済活動に対する支援と社会経済活性化について ・安全・安心な新しい生活様式への対応について
期間	令和3年6月15日から令和5年3月31日まで
委員長 副委員長 委員	平岩 純子 衛藤 博昭 吉竹 悟 清田 哲也 今吉 次郎 阿部 長夫 太田 正美 麻生 栄作 木田 昇 二ノ宮 健治 原田 孝司 馬場 林 戸高 賢史 堤 栄三 末宗 秀雄

常任委員会

総務企画委員会

委員会の開催状況

5月31日、6月15日、25日、30日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第4号)

ほか

県内所管事務調査

5月10日、11日、24日、26日、6月1日に実施しました。

県立芸術文化短期大学では、リニューアルされたキャンパスの様子を視察しました。



福祉保健生活環境委員会

委員会の開催状況

5月31日、6月15日、25日、30日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第4号)

ほか



商工観光労働企業委員会

委員会の開催状況

5月31日、6月25日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・大分県産業振興条例等の一部改正について

ほか

県内所管事務調査

5月14日、20日、6月2日、3日に実施しました。

caffelひなのさとは、日田温泉協同組合からなりわい再建支援補助金の活用状況等について説明を受け、意見交換しました。



農林水産委員会

委員会の開催状況

5月31日、6月24日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第4号)

ほか

県内所管事務調査

5月13日、20日、6月3日に実施しました。

株式会社大分うにファームでは、養殖施設の整備内容や今後の事業展開について調査しました。



土木建築委員会

委員会の開催状況

5月31日、6月25日に委員会を開催し、付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・令和3年度大分県一般会計補正予算(第6号)

ほか

県内所管事務調査

5月13日、14日、6月2日、4日に実施しました。

佐伯市の古江丸市尾線の道路改良事業などを調査しました。



文教警察委員会

委員会の開催状況

5月26日、31日、6月24日に委員会を開催。新型コロナウイルス感染症の影響について参考人からの意見聴取や付託を受けた議案の審査などを行いました。

【付託を受けた議案】

・大分県立学校職員及び大分県市町村立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について

ほか

県内所管事務調査

5月11日、17日、18日、6月1日、2日に実施しました。

七瀬の里Nスポーツクラブでは、部活動が抱える課題等について調査しました。





県民の皆さまに県議会議員の「人となり」をもっと知っていただき、議会を身近に感じていただくこと、趣味等を紹介するコーナーを企画しました！今後、五十音順に全議員を紹介します。

井上 伸史
自由民主党
日田市

キャッチフレーズ
言わんと変わらん
(常に問題意識を持つ)

休日の過ごし方
新植された杉山の草刈り
(百年生の杉の伐り株にどっかりと座り、杉の新芽を眺めると気持ちが洗われる)

阿部 長夫
自由民主党
杵築市

趣味
スポーツ(ゴルフ、野球) 読書

朝のルーティン
毎朝1時間のウォーキング
(30年間続けている)

今吉 次郎
自由民主党
中津市

座右の銘
独立自尊、自利利他

使命
伝統工芸である中津和傘の継承

荒金 信生
しんせい大樹会
別府市

最近ハマっていること
ドライブ(特に別府市内を細い道までくまなくパトロールします)

趣味
小学生の孫と一緒にサッカー、フットサルなどの応援をすること
(頑張れトリニータ&バサジィ!!)

麻生 栄作
自由民主党
大分市

最近ハマっていること
山歩き
(季節の花や虫、景色などを楽しむ)

座右の銘
さいそちぜい
在素知賢
(暮らしは質素に思想は高く)

浦野 英樹
県民クラブ
大分市

趣味
ねこが好き(でも、うちのねこは私にだけあまりなついてくれない…)

苦手なもの
絶叫マシン(小学生の娘と遊園地に行っても、父は涙目)

井上 明夫
自由民主党
日田市

座右の銘
真実一路

趣味
ロックやJポップを聴くこと
(最近ハマっているのはクイーンとaiko)

阿部 英仁
自由民主党
大分市

座右の銘
花に水、人に愛(花には水が必要であり、人には愛が必要です)

好きなスポーツ
ゴルフ(年齢とともにショットの距離は落ちてきています。スコアを少し気にしつつ健康重視でやっています)

出張おんせん県議会若者DAY

7月1日に日本文理大学において、出張おんせん県議会若者DAYを開催しました。主に地域の子どもの支援に取り組む学生に参加いただき、これからの活動の展望や地域が抱える課題について、議員と意見交換しました。



議員出前講座

県議会では、将来の住民自治を担う児童・生徒・学生を対象に、議員が講師となって県内の学校等に出向き、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを分かりやすく説明する議員出前講座を実施しています。



7月8日 国東市立安岐中央小学校



7月13日 大分県立芸術文化短期大学



7月15日 佐伯市立切畑小学校



7月16日 豊後大野市立三重中学校

トピックス

議会ロビーでの展示

6月15日から7月30日までの間、議会ロビーにおいて、第5回「山の日」記念全国大会実行委員会事務局による写真・PRパネル等の展示と、日本ボーイスカウト大分県連盟及びガールスカウト大分県連盟による活動報告の展示を行いました。



「山の日」写真・PRパネル等の展示



ボーイスカウト、ガールスカウト活動報告の展示

県議会今後の動き

令和3年第3回定例会の日程(予定)
9月8日(水) 開会

14日(火) 本会議(代表質問)

15日(水) 本会議(一般質問)

16日(木) 本会議(二一般質問)

21日(火) 常任委員会

22日(水) 常任委員会

28日(火) 閉会



議員出前講座
開催校募集中!



議員が講師として学校に出向き、県議会の仕組みや議員の活動についてわかりやすく説明します。
開催をご希望の方は、下記連絡先までご相談ください。

【連絡先】
議会事務局政策調査課 TEL 097-506-5035

大分県議会公式ツイッター
(@oitakengikai)
を始めました!



大分県議会では、県議会に関する情報を広く周知するため、ツイッターを始めました。

本会議や委員会、広報活動など、議会の活動について発信していきますので、ぜひご覧ください!



議会を傍聴される皆様へ

傍聴をご希望の方は、日程を確認のうえ、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までお越しください。先着順で傍聴券を交付します。

新型コロナウイルス
感染症対策にご協力
をお願いします。

- 発熱やせき等で体調がすぐれない場合は、入場をご遠慮ください。
- 備え付けのアルコール消毒器にて手指を消毒してからご入場ください。
- マスクの着用をお願いします。



- ★県議会のホームページで本会議の中継・録画をご覧になれます。
左のQRコードからホームページにアクセスのうえご覧ください。
- ★大分ケーブルテレコム・大分ケーブルネットワーク・CTBメディア・KCV
コミュニケーションズでは本会議の中継を行っています。放送時間は各局へご確認ください。

【県議会ホームページでは】

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

Q検索

お問い合わせは県議会事務局まで

- | | |
|----------------------|------------------|
| 【総務課】 議会庶務、情報公開など | TEL 097-506-5019 |
| 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など | TEL 097-506-5022 |
| 【政策調査課】 調査業務、議会広報など | TEL 097-506-5035 |

点字版・音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成・配付しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。

広報誌「県議会おおいた」は、大分県情報センター、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店などに配布しておりますので、ご利用ください。